

◆管内の概況

▼後志の位置・気候

当部管内は、後志地方(北海道南西部)に属します。北部から西部にかけては、日本海に囲まれ、東部は大都市札幌に接し、中山峠を経て羊蹄山から洞爺湖に通じる地域であり、南部は渡島半島に接しています。

気候は、春から夏にかけては温暖で晴天の日が多く、過ごしやすい地域です。しかし、秋から冬にかけては北西季節風の影響を受け、風雪が強く、日本海側は波浪が激しくなり、内陸側は積雪が多くなります。特に羊蹄山麓は道内屈指の豪雪地帯であり、雪解けは4月中旬過ぎとなります。

▼後志の面積・人口

管内の総面積は4,305.87平方キロメートル(令和元年7月1日現在全国都道府県市区町村別面積調)(国土地理院)1市13町6村があり、総人口は、206,480人(令和2年1月末現在住基ネットにおける人口(参考値)(北海道総合政策部))です。

▼後志の『食』

管内の農業は、水稻、畑作物をはじめ、野菜、果樹、酪農、畜産など幅広い分野の生産が行われ、「北海道農業の縮図」と呼ばれるほど、多様な経営形態となっています。なかでも、ぶどう、さくらんぼ、りんご、食用ゆり、ミニトマトは振興局別で全道1位、生食用ばれいしょ、すいか、メロン、だいこんが全道2位の作付面積となっています。近年、醸造用ぶどうの作付けが増加しており、管内には令和元年10月現在、18のワイナリーが開設されています。

管内の農業産出額は410億円(全道の約3.3%)であり、野菜が42.8%を占めています。果実は8.5%ですが、全道の約5割を占め、管内農業の特色の一つとなっています。

管内の漁業は、かつてはにしん、現在はするめいか、ほっけ、なまこ等の漁獲に支えられています。また、管内の漁村地域では、安定した資源の維持増大を図るため、栽培漁業の確立に取り組んでおり、各種放流事業を実施しています。

平成30年度の漁業生産高は数量で約30千t(全道の約2.9%)、金額では約103億円(全道の約3.8%)で、金額は前年度に比べ10%減少しています。

▼後志の『観光』

管内は、支笏洞爺国立公園の羊蹄地区、ニセコ積丹小樽海岸国定公園、狩場茂津多道立自然公園を有し、国内外から年間2,200万人余りの観光客が訪れる北海道を代表する観光地です。

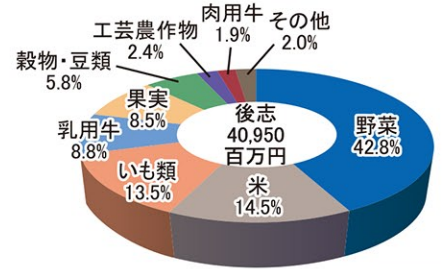
平成30年度は前年度に比べ3.2%減の観光入込客数となっており、全道の15.3%です。訪日外国人宿泊客延数は、前年度に比べて10.4%増の約119万人で、全道の14.1%となっています。

近年、世界有数のスキーリゾート地であるニセコ地区を中心に、小樽市や積丹町など、オーストラリアやアジア圏の観光客が増加しています。それに伴い、ニセコ地区には大手外資系ホテルの新規参入が続き、隣接する岩内地域でも外資系企業による国際リゾート開発構想がスタートするなど、後志地域の世界的な観光地化への動きが活発になっています。

平成30年12月に後志自動車道(余市IC~小樽JCT)が開通し、今後は、高規格幹線道路と北海道新幹線の延伸により、ニセコ地区や小樽市の周辺地域への、波及効果が期待されています。

また、令和3年9月には体験型観光の世界会議「アドベンチャー・トラベル・ワールド・サミット」の北海道開催が内定し、アドベンチャートラベル先進地であるニセコ地域などの世界的知名度が上がり、海外の富裕層誘致への期待が高まります。

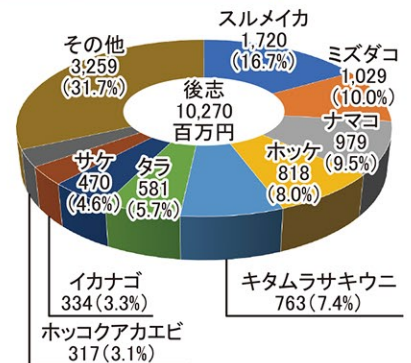
●後志の農業産出額の内訳



(単位:百万円)

後志の農業2019(北海道後志総合振興局)
(四捨五入の関係で計と内訳が一致しない場合があります)

●後志の漁業生産高魚種別構成



(単位:百万円)

平成30年北海道水産現勢(北海道水産林務部)
(四捨五入の関係で計と内訳が一致しない場合があります)

●後志管内市町村別観光入込客数



(単位:千人)

管内計22,272.6千人
北海道観光入込客数調査報告書平成30年度(北海道経済部)

●訪日外国人宿泊客延数



北海道観光入込客数調査平成30年度(北海道経済部)

Topics: 倶知安町でG20観光大臣会合を開催

令和元年10月25日、26日に倶知安町のニセコHANAZONOリゾートでG20観光大臣会合が開催され、経済成長の牽引と持続可能な開発目標(SDGs)に対する貢献という観光の役割について確認するとともに、観光客と地域社会に貢献する観光マネジメント、持続可能な観光を推進する技術革新という共通の課題について意見交換を行いました。会合での議論を踏まえ、その成果として「北海道倶知安宣言」を採択しました。

